

教会創立103周年

週 報

2025年8月31日 5357週

【今年度のテーマ・聖句】

「共に喜ぶ」

—ハレルヤ わたしの魂よ主を讃美せよ—

わたしたちの一つの体は多きの部分から成り立っています。すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも数が多いがキリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。（ローマの信徒への手紙 12章 4～5節）

巻 頭 言

牧師 加藤英治

教会暦の話④

受難節の中に秘められた喜びと希望

クリスマスが終わり、二か月ほど経つと、教会暦は「受難節」、イエス・キリストの受難と十字架の道をたどる季節に入ります。「受難節は、イエスの苦難と死の意義について考え、罪の悔い改めを表わし、さらになお赦しを与えられていることを感謝する時である。」この受難節の開始の日は、逆にイースター（復活祭）から定められます。後でお伝えするように、毎年のイースターは「春分の日以後、最初の満月の夜の次の日曜日」と暦で決まっています。そのイースターからさかのぼって6回の主の日を数えます。その1回目の主日の前の週の水曜日が「灰の水曜日」とされ、ここから受難節が始まるのです。「イースターを起点として数える」という意味では、教会暦の中心はイースターだと言えます。

受難節は、教会暦中の「節」の中では最も長い期間です。「復活日の四十六日前、すなわち灰の水曜日から断食の期間、受難節が始まるようになった。

——断食を守る期間はイエスの断食にちなんで四十日と定められたが、日曜日は断食をしないため、六週間（6日×6週）と前四日を含む四十六日前からその期間が始まる。」この長さから、教会が古来イエス・キリストの十字架と苦難を想起すること、非常に大切にしてきたことがわかります。この時期、信仰者たちは、そのように断食と共に、主イエスの受難と十字架に深く心を留め、祈りと悔い改めに思いと生き方を集中させようとして、様々な試みを行ってきました。同時に、受難節には「主の日」（日曜日）が含まれてはいないことから、「主の日」は依然として「主の復活の祝いと喜びの日」であり続けるのだということを思わされます。悲しみと痛みの中にも、復活の喜びと希望が隠されているのです。

日本バプテスト シオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

TEL:093-561-0772 Fax:093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

司会 磯部みゆき姉
奏楽 田中基子姉

前 奏
招 詞 詩編 37 : 23 ~ 24
頌 栄 667 (聖なるかな聖なるかな)
主の祈り (新生讃美歌の扉を参照)
交 読 「平和宣言」 第 4 週
讃 美 486 (ああ主のひとみ)
聖 書 マタイ 4 : 1 ~ 4
(新共同訳 4p 口語訳 4p)

祈 禱
子どもメッセージ 船津丸泰姉
讃 美 431 (いつくしみ深き) 聖歌隊
宣 教 「意味のある生き方」
木村正美執事

祈 禱
讃 美 544 (ああ嬉しわが身も)
献 金 祈り : 酒井光子姉
(教会学校)

頌 栄 674 (父 み子 聖霊の)
黙 禱
後 奏
報 告

◎今月の聖句

「平和を実現する人々は、幸いである、
その人たちは神の子と呼ばれる。義のため
に迫害される人々は、幸いである、天
の国はその人たちのものである」
(マタイによる福音書
5章9 ~ 10節)

今月の当番役員

酒井光子 安武由美子

本日の集会

教会学校

幼小科

10 : 30 ~ 11 : 40

中高科、青年・成人科

9 : 30 ~ 10 : 15

主日礼拝の当番

受付 : 船津丸泰 田中登美子

酒井光子(当番役員)

お花 : 庄司まり子

◎今週の集会(8月31日~9月5日)

<聖書> ヨシュア 1 : 1 ~ 9

3日(水) 祈祷会 I 10 : 30

(奨励 : 加藤英治牧師)

3日(水) 祈祷会 II 19 : 30

(奨励 : 加藤英治牧師)

今週の聖書日課と祈り

31日(日) 申命記 34 : 1 ~ 12	藤田義弥
1日(月) マルコ 9 : 50	二木榮子
2日(火) ローマ 8 : 5 ~ 6	船津丸泰
3日(水) 詩編 37 : 37	前田昭治郎
4日(木) 詩編 23 : 1 ~ 6	真角貞行
5日(金) マタイ 1 : 23	真角汪美
6日(土) イザヤ 41 : 10	松田明枝